

Q4

肺炎球菌ワクチンを接種した半年後に、肺炎球菌感染症に罹患してしまいました。なぜでしょうか。

A

肺炎球菌ワクチンには23種類の莢膜ポリサッカライドが含まれており、接種によって肺炎球菌感染症の約80%を予防できると考えられています。このワクチンを接種したにもかかわらず、その半年後に罹患してしまった理由として、次のような可能性が考えられます。

1. 起炎菌の莢膜型が肺炎球菌ワクチンに含まれていなかったため
2. 起炎菌の莢膜型は肺炎球菌ワクチンに含まれていたが、
 - 1) 莢膜型に対応する抗体が感染防御レベルまで増加していなかったため
 - 2) 莢膜型に対応する抗体は接種後に増加していたが、接種の半年後には感染防御レベル以下に減少してしまっていたため